

ルミノコッカス・アルブス由来のフェルラ酸エステラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1543

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、フェルラ酸エステラーゼ (EC 3.1.1.73) は、次の化学反応を触媒する酵素です: フェルロイル-多糖 + H₂O → フェルラート + 多糖。したがって、この酵素の二つの基質はフェルロイル-多糖とH₂Oであり、その二つの生成物はフェルラートと多糖です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。

別名 フェルラ酸エステラーゼ; フェルラ酸エステラーゼ (FAE); ヒドロキシシナモイルエステラーゼ; ヘミセルラーゼ付随酵素; シナモイルエステルヒドロラーゼ (cinnAE); EC 3.1.1.73; 4-ヒドロキシ-3-メトキシシナモイル-シュガーヒドロラーゼ

製品情報

種	ルミノコッカス・アルブス
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.1.1.73
CAS登録番号	134712-49-5
分子量	33.7 kDa
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	7
最適温度	37 °C
特異性	キシランとリグニン間のフェルラ酸クロスリンク

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。